

内野中だより

平成29年度 第6号
新潟市立内野中学校
電話 262-3161
在校生徒数
1年生 207名
2年生 200名
3年生 212名
計619名
(11月30日現在)

輝瞳祭を終えて

梅山 洋子

素晴らしい1日でした。輝瞳祭を合唱中心の文化祭として行うようになって3年ほどとか。学校をあげて、この行事を大切にしていこうとする内野中の魂を感じることもできる1日でした。感動した点をいくつか挙げます。

- ①新潟県が誇る「りゅーとびあ」のステージで学級ごとの発表ができたこと。
- ②このステージではNコンの県大会も行われます。合唱部の精鋭35人でも響かせるのは大変です。そのホールをそれより少ない人数で歌いこなすなんて、素晴らしい！
- ③今年輝瞳祭に向けての取組を実行委員が中心になって進めました。生徒

主体の活動が見事な響きをつくり、行事の大成を収めました。

- ④全学級がクラスの個性を生かした素敵なハーモニーを披露しました。思春期の多感な時期、しかも男子は変声期。学級の状況も色々です。その中ですべての学級がこれだけ歌えることは、まさに内野中の力の凄さです。
- ⑤クラス合唱でこれだけ本格的な響きで歌える学校はそう多くはないと思います。特に3年生は最高学年として誇れる表情豊かな合唱を披露してくれました。さすが、混声合唱で大会にも参加できる力のある学校だと実感しました。

この伝統を絶対に守って行こう！と私自身も心に強く誓った1日でした。幸せな時間をありがとうございました。



平成29年度 輝瞳祭スローガン 十人十色～絆で奏でるハーモニー～

全校生徒に行ったアンケートの結果、①学級のまとまり（協力、団結、絆など）を表すことば②歌声（響く、奏でる、ハーモニーなど）を表すことばを入れようということになりました。

『十人十色』には、クラスにおいて、一人一人が自分の役割や個性を発揮する、自分にしかない色を出してがんばるといふこと。内野中において、18クラスがそれぞれの色（個性）を出して演奏し合うこと。そういった願いを込めました。（輝瞳祭実行委員会）

輝瞳祭の感想♪

「十人十色

」絆で奏でたハーモニー」

輝瞳祭 実行委員長

私は今年度の輝瞳祭、大成功だと思います。私は舞台裏にすることが多かったのですが、全校のみなさんの絆を近くで見ることができました。本番前で緊張している友達を「頑張ろう」「大丈夫」と励まし合っている様子が見られてうれしかったです。その励ましのおかげで、本番の演奏はどのクラスも堂々として上手でした。本当に素晴らしい輝瞳祭を、ありがとうございました。



輝瞳祭の感想♪



輝瞳祭を振り返って

副実行委員長

私は副実行委員長として実行委員長を支え、全校と他の実行委員をリードする立場でしたが、「私のほうが支えられたな。」と思いました。準備のときやスローガン決めでは、全校の皆さんや実行委員の人たちの協力を助けられました。また、開会のあいさつで舞台裏にいるときには、友達や先生に「がんばれ。」と励まされ、うれしかったです。とてもやりがいのある仕事でした。

ありがとうございました。

「必死につないだもの」

副実行委員長

今年度の輝瞳祭は、実行委員の行う仕事が例年より増え、当日はもちろん、準備活動の期間も大変なことが多くあったのですが、全校のみなさん、先生方のご協力のおかげで「成功」という形で終えられたように思います。また、閉会式の際の「輝瞳祭が楽しかったか」、「クラスの絆が深まったか」の二つの質問に対し、みなさんの達成感が挙手によって伝わったのも印象的でした。今回深めた絆を、これから生かしていきたいと思います。

輝瞳祭を振り返って

1年4組 生徒

1年4組は、「with you smile」という曲をうたいました。この歌には、各パートに分かれるところがたくさんあります。そして最後には、5つのパートに分かれるところもありました。でも、声が出ず、なかなか合いませんでした。それで、パート練習を重点的にすると、本番ではきれいにパートが分かれることができました。来年は今年よりがんばって、よりよいものにできるようにしたいと思いました。

響け

2年5組 生徒

僕たちのクラスの輝瞳祭の学級目標は、「響け」でした。この目標は、りゅーとびあいつぱいに歌声を響き渡らせ、聴いている人たちを感動させようという思いがこもっていました。練習では、最初の頃はあまりがなくて声も小さかったのですが、本番が近づくにつれ、大きな声が出るようになりました。本番当日、僕は大きな声で力いっぱい歌いました。りゅーとびあいつぱいに、僕たちの合唱「心の瞳」を響き渡らせることができました。

実行委員を通して学んだこと

3年4組 生徒

私は、輝瞳祭実行委員としての活動を通して、支え合うことの大切さを改めて学びました。例えば、クラスの合唱練習がしっかりできなかったときは、各リーダーを中心に声掛けをしてもらいました。そして、私も指揮者や伴奏者が困っているときに手助けするようにしました。リーダーを中心に毎日の練習を重ねていく中で、クラスが一つになっていき、輝瞳祭当日は最高の演奏ができ、よかったです。皆で支え合ったからこそ、最高の演奏になったのだと思います。



10月11月の活動の様子



10月5日 新潟市中学校総合体育大会（西地区）
各部活が全力を尽くして試合に臨みました



輝瞳祭実行委員 力を合わせて頑張ります！



10月21日 輝瞳祭



11月22日 いじめをなくすための学級討議
いじめをなくすための具体的な行動を考えました

人権を守り、いじめをなくす活動は
さらに続いています



10月1日 全日本合唱大会関東支部大会出場



10月11日～13日 JR越後線あいさつ運動



よりよい合唱を目指して、
縦割グループでのリーダー会議



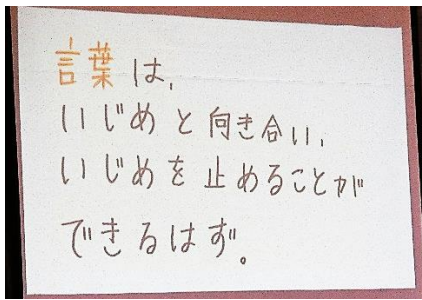
11月2日 県駅伝大会（男子の部）出場



11月28日 創立70周年記念植樹
校舎脇に6本の桜の苗木を植樹しました

11月27日 いじめ根絶・絆集會 ～生徒の手でよりよい学校生活を～

1年生は、どんなことがいじめになるのか、いじめをなくすためにどうしていけばいいのか、具体的な場面を設定して学年で話し合った内容を、「言葉」に焦点を当てて発表しました。



2年生は、仲間からのサポートを感じたことを紙に書いたものをつなぎ合わせ、学年目標である「ヒーローズ」の象徴としてアンパンマンの掲示物を完成させました。実際のサポートの場面の寸劇も披露しました。



3年生は、相手の気持ちを考えることをテーマに、自分たちができることを話し合い、行動目標をたてました。相手の気持ちがUPする言葉を考え、クラス表示とともに掲示されています。



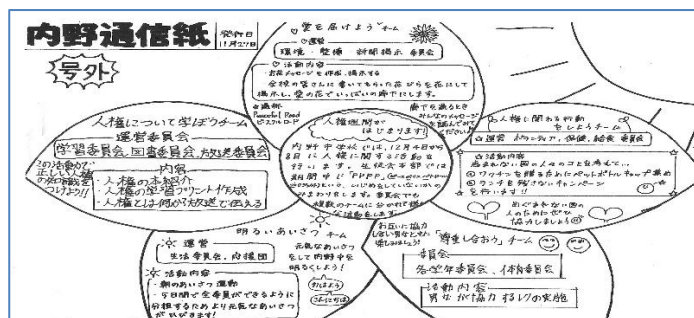
生徒会では、心に降る雨を傘で遮るというイメージで、いじめに苦しむ生徒に寄り添うことの大切さを表現しました。また、生徒たちの考えやメッセージを傘に張り付けて、球体のオブジェを作りました。生徒玄関に展示中です。



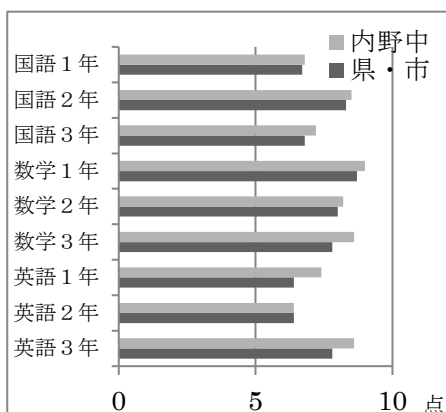
人権週間

12月4日～8日

人権に関する活動を、生徒会の委員会単位でチームを作って行いました。



技術の授業で3年生が育てた菊



中間テストが終了しました。生徒は結果に一喜一憂していますが、今後の学習にどうつながっていくか、そして日々の授業を大切にしていくことが必要です。

12月は5日が英語の県配信、14日が数学の市配信テストです。計画的に学習を進めて下さい。

10月配信テスト結果

学習について

2年生の英語が県平均と同じで、その他全て、平均正答率が市・県平均を上回りました。今後も、授業の中や放課後学習教室で補充を行います。